

第5章

産業振興

豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく
力強い産業のまち

- 1 農業の振興
- 2 林業の振興
- 3 観光の振興
- 4 商工業の振興
- 5 雇用の促進

1

農業の振興

現状と課題

南魚沼市が誇るコシヒカリは、地域ブランドとして全国で高い評価を受けており、本市の農業産出額の8割以上は米が占めています。しかし、近年農家数や農業就業者人口の減少、農業従事者の高齢化が進行しています。

コシヒカリをはじめとする農畜産物や水産物を安定的に供給するためには、消費者のニーズを的確に捉えながら、複合化や効率化を図るとともに、競争力や販売力を強化することが求められます。また、環境保全型や循環型への対応が今後さらに求められます。

基本方針

コシヒカリを核として、農業基盤の整備、農地の利用集積や組織化を進めるとともに、次代の農業を担う人材の育成を進め、循環型社会に根ざした環境保全型農業を推進します。

地域特性を活かした個性ある農畜産物や水産物の生産・開発・流通などを支援し、天候に影響されにくいバランスのとれた農業・畜産業・水産業の確立を図ります。

施策の概要

◆ 個性ある農産物の開発と流通の支援

地域の特性を活かした個性ある農産物の開発や流通の支援を図るとともに、地域ブランドとして確立している南魚沼産コシヒカリについて、販売戦略のさらなる強化を推進します。

◆ 環境保全型農業の推進

畜産排せつ物をはじめとして、農林業有機資源の堆肥化とその活用を図り、循環型社会に根ざした環境保全型農業を推進します。また、安全な農産物を生産し、消費者へ届ける体制づくりを推進します。

◆ 農業の担い手育成支援

地域の農業を担う人材を確保し、次代の農業をリードする人材を育成するための支援を行います。

◆ 農業基盤の整備

営農の効率化を図り、地域農業の収益性を向上させるため、農業の基盤となる農地や農道、農業用水機能の整備を推進します。また、農業集積地の生活基盤整備を進め、自然と共生する営農環境づくりを推進します。

◆ 畜産業の支援

生産技術の高位安定により生産性の向上を図るとともに、コスト低減による経営体質の強化を推進します。また、広域有機センター等の堆肥処理利用施設を活用した耕畜連携農業を推進します。

◆ 水産業の支援

虹鱒、鮎、鯉などの水産資源の生産拡大を図ります。また、錦鯉の品質向上のための施設整備を支援します。

◆ 食の安全の推進

生産者と消費者による「食」に関する情報の共有化や相互理解を推進するとともに、安全・安心な食品を確保するための体制を強化します。

施策の達成目標・指標

指標の名称	現在数値	目標数値	目標年度	数値の把握方法
経営農地面積 7ha 以上の稲作農家数の増加	76 戸	100 戸	H26	農業基本台帳にて把握
「農業が盛んなまち」と思う市民の割合	61%	現状維持	H26	市民の声アンケート調査※

※「そう思う」「まあそう思う」の合算値（現在数値は H21 年度市民アンケート調査より）



■秋の稲穂



■八色すいか

主要な事業

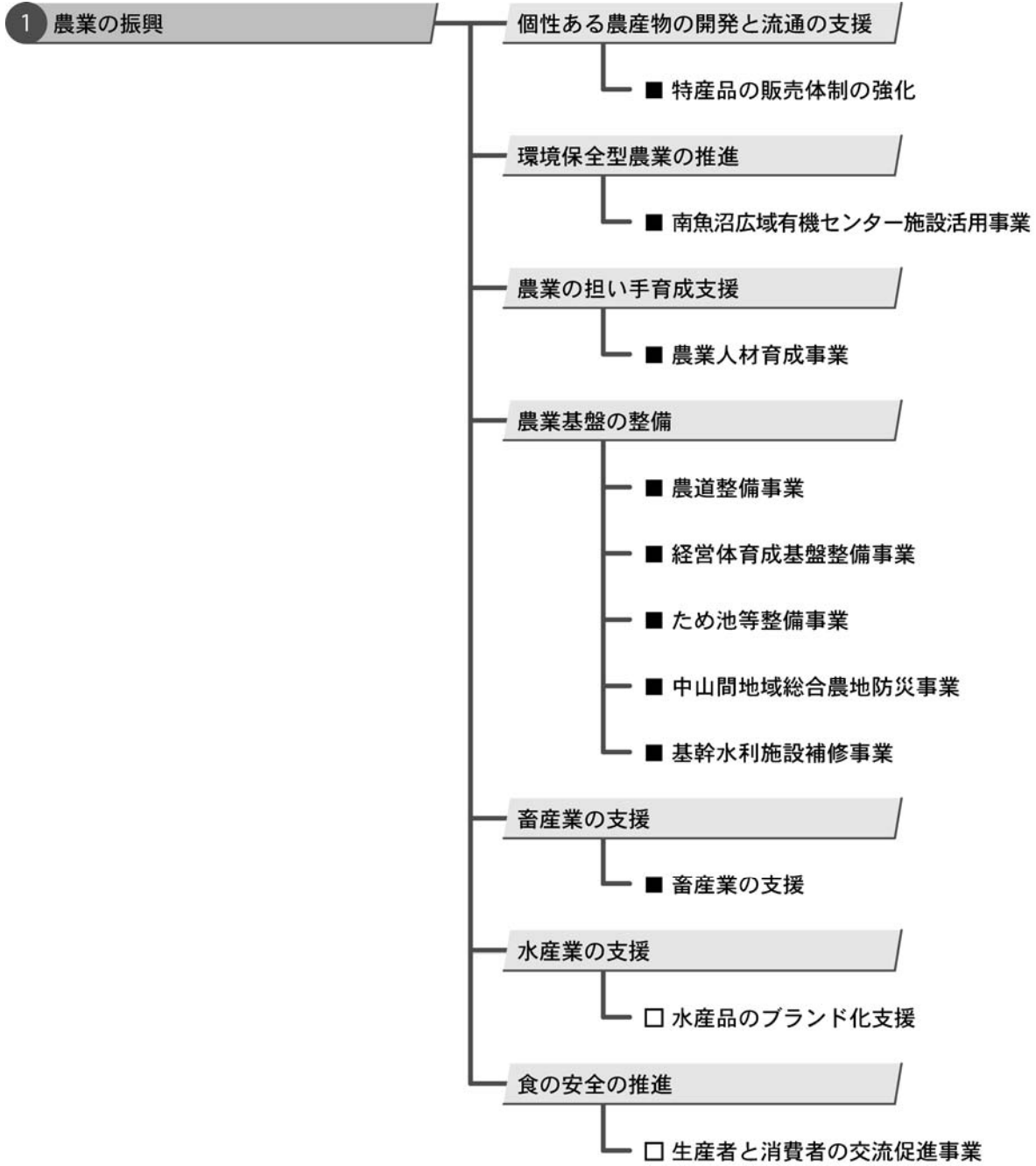
<p>■ 特産品の販売体制の強化</p> <p>農業協同組合や民間事業者と協働し、米、すいか、椎茸等の南魚沼市を代表する特産品の販路拡大に努めます。</p>
<p>■ 南魚沼広域有機センター施設活用事業</p> <p>家畜排せつ物の資源化を推進し、環境保全型農業の確立のために、南魚沼広域有機センターの積極的な活用を図ります。</p>
<p>■ 農業人材育成事業</p> <p>地域の主要産業である農業の振興を図るため、農業を担う人材を育成します。</p>
<p>■ 農道整備事業</p> <p>農産物の流通の合理化と作業の効率化を図るため、農地と農業施設をつなぐ農道の整備と維持を図ります。</p>
<p>■ 経営体育成基盤整備事業</p> <p>農業生産基盤を確保するため、農地の機能向上、農業基盤整備の充実を図ります。</p>
<p>■ ため池等整備事業</p> <p>貯水機能を維持するため、老朽化したため池の更新を図ります。</p>
<p>■ 中山間地域総合農地防災事業</p> <p>平坦地の少ない中山間地域の農業生産活動の維持と農地災害防止のための環境整備を推進します。</p>
<p>■ 基幹水利施設補修事業</p> <p>用水機能を維持するために、老朽化した基幹水利施設の更新を図ります。</p>
<p>■ 畜産業の支援</p> <p>畜産環境の整備および消費拡大に向けた取り組みを推進します。</p>
<p>■ 水産品のブランド化支援</p> <p>新潟県内水面水産試験場で長い時間と研究を重ねて誕生した「魚沼美雪ます」等の水産品のブランド化に向けた取り組みを推進します。</p>
<p>■ 生産者と消費者の交流促進事業</p> <p>NPO等市民主体の団体や民間企業と連携し、地場産農産物の消費拡大を図るための、生産者と消費者との交流事業を促進します。</p>



■魚沼美雪ますの握り寿司

施策の体系

□印は新規掲載事業



保健・医療・福祉
1

教育・文化
2

環境共生
3

都市基盤
4

産業振興
5

行財政改革・市民参画
6

2

林業の振興

現状と課題

南魚沼市の森林面積は39,137ヘクタール(平成19年度 新潟県農林水産統計年報)で、市域面積の約67%を占めています。森林は木材を生産するだけでなく、水源涵養や山地災害防止などの機能を持ち、市民の生活を支えています。また、豊かな緑や清らかな水を育む優れた自然景観を形成しています。しかし木材価格の下落や後継者不足などにより、林業の生産活動は低迷しており、継続的に管理すべき人工林の荒廃、森林の持つ多面的機能の喪失が懸念されています。

基本方針

森林組合等と連携し、植林や間伐など継続的な造林保育に取り組むとともに、森林の保全管理や木材生産の効率化のために林道整備や治山事業を推進し、良質木材を将来にわたって生産できる活力ある林業の振興を図ります。

貴重な天然林の保護・育成を推進し、豊かな自然環境を守りながら市民の憩いとなる交流の場、グリーンツーリズムなどの観光レクリエーションの場としての活用を図ります。

施策の概要

◆ 地域森林資源の活用

地域森林資源の環境保全を進めるとともに、豊かな自然を活かしたアウトドアレクリエーションの場としての整備を進め、市民のレジャーの場、都市部からの利用者との交流の場としての活用を図ります。

◆ 林地の保全・林業基盤の整備

森林環境の保全と将来の価値ある良質材生産による林業振興のため、継続した造林保育を推進するとともに、森林組合等と連携して間伐材の有効利用と地元産木材の利用促進に取り組めます。

◆ 治山事業の推進

林地環境の保全と市民生活の安全のため、地すべり、土砂崩れなどを防止する治山事業を推進します。

施策の達成目標・指標

指標の名称	現在数値	目標数値	目標年度	数値の把握方法
間伐材の利用増進	現在数値を把握していないため不明	200トン ／5年間 (薪を含む)	H26	森林組合等の販売量及び供給量にて把握
地元産木材の活用推進	249m ³ ／年	300m ³ ／年	H26	森林法第10条の8第1項の規定による伐採届及び木材需給動向調査等により把握
「林業が盛んなまち」と思う市民の割合	15%	20%	H26	市民の声アンケート調査※

※「そう思う」「まあそう思う」の合算値（現在数値はH21年度市民アンケート調査より）

主要な事業

<p>■ 生活環境保全林整備活用事業</p> <p>越後三山森林公園周辺の森林環境保全と施設整備を推進し、水無川上流部を観光レクリエーションの場として活用します。</p>
<p>■ 分収造林事業</p> <p>地域資源として重要な森林を維持するために、山林所有者等との協議により計画的かつ継続的な保育、造林を推進します。</p>
<p>■ 林道開設事業</p> <p>保育、造林と適期伐採による木材生産の効率化を図るため、林道整備を推進します。</p>
<p>■ 森林組合支援事業</p> <p>民有林の育成整備や間伐材の利用促進、地域の山地の森林保全整備の推進で林業の振興を図るために、林業の担い手としての森林組合を支援します。</p>
<p>■ 地すべり防止事業</p> <p>林地環境の保全、市民の安全を確保のために、地すべり危険箇所における防災施設の整備を推進します。</p>
<p>■ 県営治山事業</p> <p>山地の荒廃防止や荒廃地の復旧を行うとともに、林地の維持を推進し、地域の山地保全を図ります。</p>

1 保健・医療・福祉

2 教育・文化

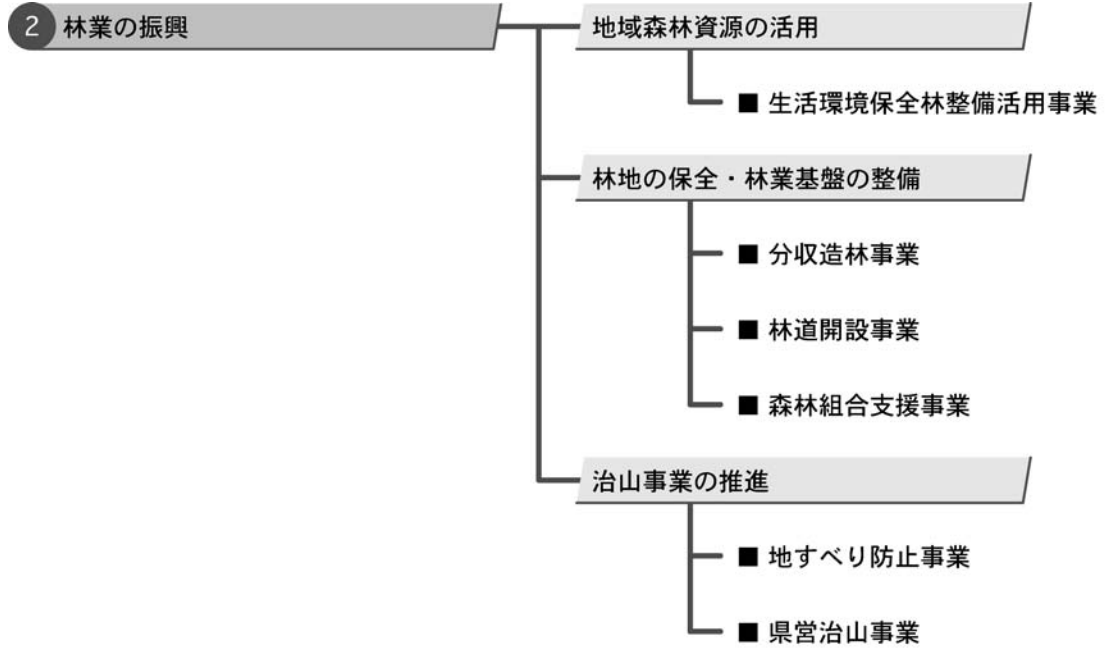
3 環境共生

4 都市基盤

5 産業振興

6 行財政改革・市民参画

施策の体系



■バイオマスタウン構想における主要事業、木質ペレット化事業の推進 ペレットとペレットストーブ（市長室）

1 保健・医療・福祉

2 教育・文化

3 環境共生

4 都市基盤

5 産業振興

6 行財政改革・市民参画



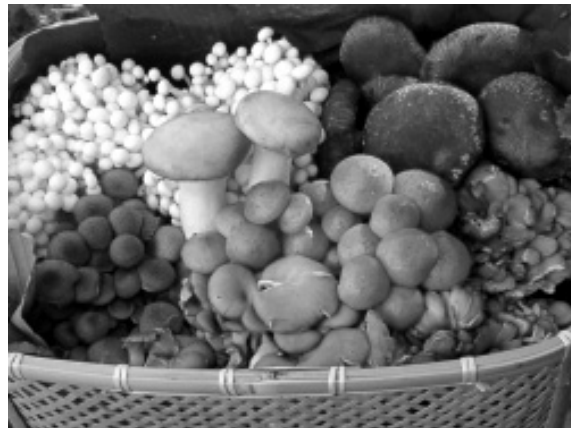
■森の結婚式（五十沢キャンプ場）



■子ども森林教室



■植林の様子



■特用林産物※1 魚沼産きのこ

※1 特用林産物

山林から生産される産物のうち、木材以外のもの。きのこ類、くり、くるみ等の樹実類、わらび、わさび等の山菜類など。

3

観光の振興

現状と課題

南魚沼市の主要な産業である観光産業は、これまで恵まれた地域資源を活用した冬季スキー観光を基幹として発展してきました。しかし、近年、観光客のニーズの多様化やスキー離れの進行などの影響により、市内スキー場の入り込み客数は激減しています。このような中、平成21年にはNHK大河ドラマ「天地人」が放映され、南魚沼市で生まれた上杉景勝公、直江兼続公の知名度が上がり、関連施設には多くの観光客が訪れました。

今後は、スキーを主体とする冬季観光とグリーンシーズン観光双方の振興を図り、「天地人」放映により増加した観光客の減少をいかに少なくするかが課題となっています。

また、北陸新幹線延伸に伴う上越新幹線の枝線化で、ほくほく線の特急廃止や上越新幹線の減便と、これに伴う、観光、産業、経済などさまざまな分野への影響が懸念されており、これらへの取り組みも課題となっています。

基本方針

観光客の多様なニーズに対応し、四季を通じた個性的で魅力ある観光振興のための施策を計画的に推進します。

周辺地域と連携し、新たな資源の発掘・開発を含めて、地域に散在する魅力ある観光資源を有機的に結び、広域的視点による観光振興を推進します。

施策の概要

- ◆ 産業振興ビジョンの推進
産業振興ビジョンを基に、豊富な地域資源を活用して四季を通じて親しまれ、活用される計画的な観光施策を推進します。
- ◆ スキーなどスポーツ観光の推進
冬季のスキー観光を核として、四季を通じて楽しめるスポーツ観光施策を推進します。
- ◆ 地域特性を活かした四季観光の推進
豊かな自然環境、清らかな水、全国ブランドのコシヒカリや文化、歴史を活かした観光施策を推進します。また、市内の神社・仏閣・美術・博物館の活用を推進します。

1 保健・医療・福祉

2 教育・文化

3 環境共生

4 都市基盤

5 産業振興

6 行財政改革・市民参画

◆ 体験・交流観光の拡大

グリーンツーリズムなど体験型観光や友好・姉妹都市をはじめとした都市部や他地域の人々との交流型観光施策の推進と併せ、「学び」を重視した「教育型体験旅行」の誘致を推進します。

特に、ユネスコ無形文化遺産代表リストに登録された越後上布の伝統技術伝承活動と連動した体験交流型の観光を新たに検討します。

◆ 利雪・遊雪観光の推進

雪まつり、雪譜まつりなどの雪を活かした地域イベントを連携させる「南魚沼冬物語」を企画し、シーズンを通じた誘客を積極的に推進します。

◆ 国際観光の推進

地域の豊かな自然と文化を活かした国際観光を推進します。また、そのための受入体制の整備を推進します。

◆ 観光施設や情報の機能向上

来訪者や地域住民のニーズを踏まえた観光施設の整備、情報提供の機能向上を推進します。

◆ 新たな地域資源の定着と活用

NHK大河ドラマ「天地人」の放映で、郷土の英雄上杉景勝公、直江兼続公とその生誕地としての本市が全国に知られるようになり、地域にも定着しました。この、新たな地域資源を最大限に活用し、関連史跡や「直江兼続公伝世館」などの施設を拠点とした観光交流を促進します。

施策の達成目標・指標

指標の名称	現在数値	目標数値	目標年度	数値の把握方法
観光誘客数の増加	3,493,910 人	3,600,000 人	H26	南魚沼市観光動態調査にて把握
「観光が盛んなまち」と思う市民の割合	37%	現状維持	H26	市民の声アンケート調査※

※「そう思う」「まあそう思う」の合算値（現在数値はH21年度市民アンケート調査より）



■スポーツ観光の推進「歩くスキーフェスティバル」



■八色の森市民まつり

主要な事業

<p>■ 産業振興ビジョン推進事業</p> <p>産業振興ビジョンに基づき、個性あふれる観光振興を計画的に推進します。</p>
<p>■ 運動・スポーツ観光の推進</p> <p>スキー、スノーボード、乗馬、スカイスports、釣り、ラフティング、カヌー、キャンプ、登山、サイクリングなど、運動・スポーツ観光を推進します。</p>
<p>■ 生命・癒し・健康観光の推進</p> <p>温泉の癒し効果を活用し、こころの健康・身体の健康増進を図る健康観光を推進します。</p>
<p>■ 文化・歴史観光の推進</p> <p>神社・仏閣をはじめとした名所・旧跡・歴史的資源を活かした観光客誘致を推進します。</p>
<p>■ 野外・山岳観光の推進</p> <p>温泉や食文化など、山岳と他の地域資源とを組み合わせた山岳観光を推進します。</p>
<p>■ 体験・交流観光の推進</p> <p>豊かな自然の中に滞在しながら、農山村の暮らしを体験・学習できる体験型観光を推進するとともに、ユネスコ無形文化遺産代表リストに登録された越後上布の伝統継承活動と連動した体験型観光を研究します。また、来訪者へのおもてなしと交流を通じ、市民が一体となって、南魚沼の素晴らしさを再認識するとともに内外に伝えられるよう努めます。</p>
<p>■ 利雪・遊雪・親雪観光の推進</p> <p>雪まつり・かまくらまつり・雪譜まつりを中心とした利雪・遊雪・親雪観光を推進します。</p>
<p>■ 国際観光の推進</p> <p>観光関係団体等と連携して、アジアを中心とした海外からの観光客の誘致に努めます。</p>
<p>■ 観光情報発信拠点施設整備</p> <p>来訪者に地域の魅力を伝え、さまざまな観光情報を発信し、市民も集える総合的な施設の整備を検討し、四季を通じた観光振興を図ります。</p>
<p>■ 新たな地域資源の定着と活用</p> <p>郷土の英雄上杉景勝公と直江兼統公の生誕地としての認知度をさらに向上させ、定着化を図るとともに、最大限に活かした観光振興を図ります。</p>



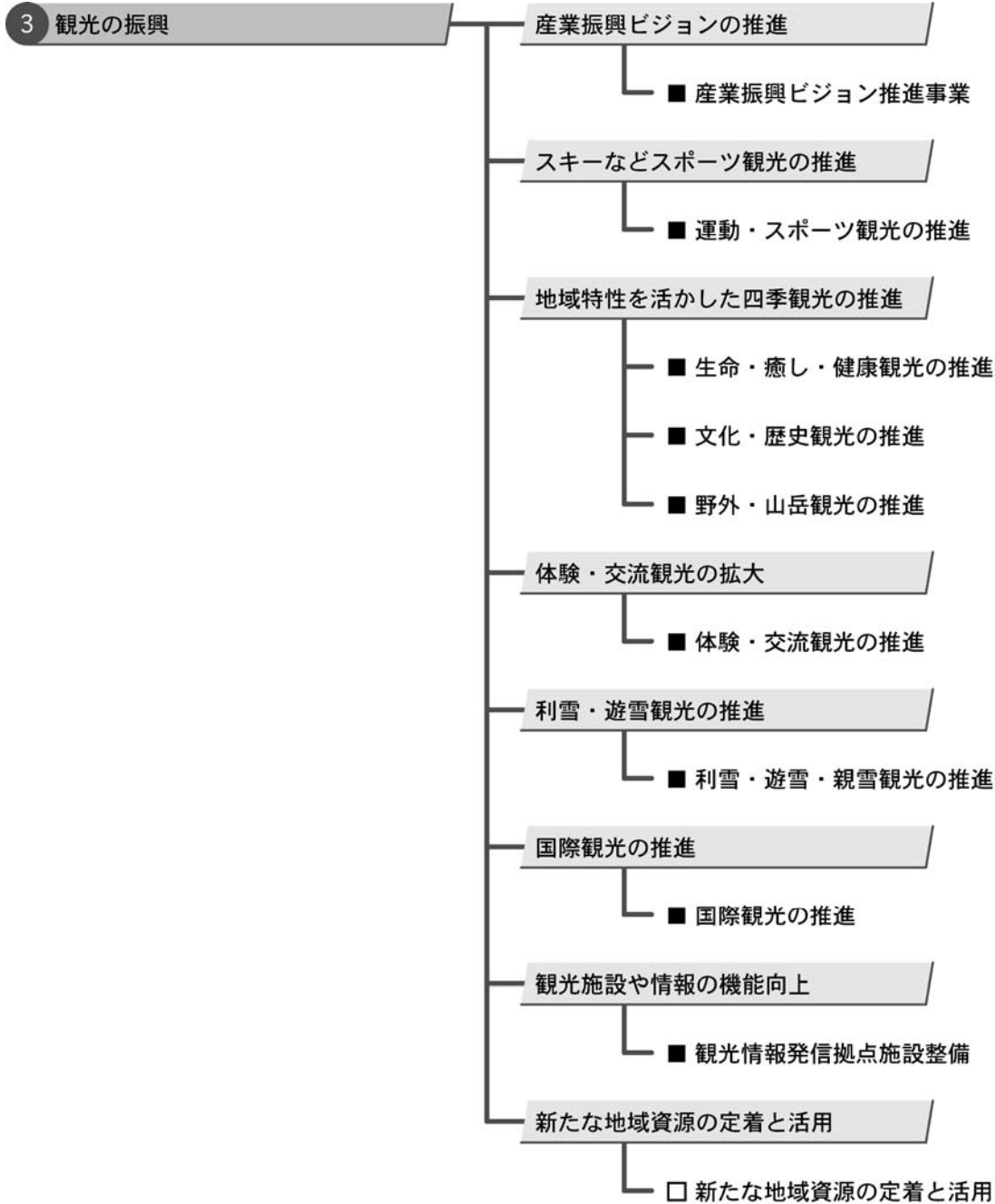
■しおざわ雪譜祭り



■愛・天地人博入場者 40 万人突破記念

施策の体系

□印は新規掲載事業



1 保健・医療・福祉

2 教育・文化

3 環境共生

4 都市基盤

5 産業振興

6 行財政改革・市民参画

4

商工業の振興

現状と課題

南魚沼市では地場産業の振興や企業誘致を推進しており、今後も社会経済情勢を的確に捉えながら、既存産業の経営基盤強化を支援するとともに、新たな優良企業の誘致や商品開発などの工業振興支援策を講じる必要があります。その一方で、環境との共生を強く意識した取り組みが求められます。

商業は、卸業、小売業ともに平成9年をピークに年間販売額の減少が見られます（平成19年商業統計調査）。特に中心市街地の商業は、経営者の高齢化や後継者不足、多様化する消費者ニーズへの対応の遅れ、大規模店舗の郊外への進出などの影響による休廃業が相次ぐことで、相対的に活力が低下しており、賑わいのある中心市街地の再生が求められています。

基本方針

地域の産業資源や高速交通網を活用した地域経済の発展を計画的に推進します。

工業については、既存産業の活性化や工業団地への支援とともに、新商品の開発、新規事業の創出や進出を積極的に支援します。

商業については、商業活動や商店街の活性化とそれを支える都市基盤整備を推進するとともに、居住、交流、商業の総合的な視点に立って、まちの顔である中心市街地の機能集積と活性化を推進します。

施策の概要

◆ 産業振興の計画的な推進

産業振興ビジョンの実施計画を見直し、商工業の発展、企業誘致など計画的な地域産業の振興を推進します。

◆ 産業の育成支援

新分野への進出や新技術の開発など、起業・創業に取り組む企業や団体、個人に対して、国や新潟県の支援制度の活用促進を図ります。

◆ 中心市街地の活性化

商店街の連続性を維持し、集客力と周遊性を向上させるため、空き店舗を活用する新規開業者の出店支援を行うとともに、地域住民の交流や情報発信の拠点としての整備を検討し、中心市街地活性化を図ります。

◆ 地域特産商品の開発推進

「米」や「水」などの豊かな地域資源を活用した南魚沼市ブランドとなる特産品の開発、情報の発信や販売経路の拡大を推進するとともに、農・商・工・観光が連携した新たな産業の創出を図ります。

施策の達成目標・指標

指標の名称	現在数値	目標数値	目標年度	数値の把握方法
商工会組織率の向上	過去5年間の平均組織率 54.5%	今後5年間の平均組織率 60%	H26	商工会事業報告書にて把握
「商工業が盛んなまち」と思う市民の割合	13%	20%	H26	市民の声アンケート調査※

※「そう思う」「まあそう思う」の合算値（現在数値はH21年度市民アンケート調査より）

主要な事業

<p>■ 産業振興ビジョン推進事業【再掲】</p> <p>産業振興ビジョンに基づき、力強い産業の振興を計画的に図ります。</p>
<p>■ 産業振興事業</p> <p>異業種間の連携による地域ブランドの創出や、そのための商品開発、販路拡大、情報宣伝強化の支援、職業訓練センターなどの活用による人材育成の支援を推進します。</p>
<p>■ 既存産業育成事業</p> <p>織物産業等の地場産業の振興を図り、マーケティングの支援や、効率的・効果的な企業経営の方策を、民間事業者や研究機関等と共同で研究します。</p>
<p>■ 新規産業育成事業</p> <p>高速通信ネットワークを活用し、新規産業の育成を支援します。また SOHO※¹ タウン化に向けたインフラ整備を推進します。</p>
<p>■ 新規起業の促進</p> <p>商業地域等における空店舗活用や、個々の事業者や新規起業による自主的な出店の支援を推進します。</p>
<p>■ 中心市街地活性化施策の検討</p> <p>中心市街地の居住、交流、商業を総合的かつ体系的に集積、活性化するため、中心市街地活性化施策の検討を推進します。</p>
<p>■ 地域特産商品開発推進事業</p> <p>地域資源を活用し、新たな商品開発を推進するとともに、情報の活用、販売経路の拡大等による地域特産品の販売促進など、観光産業との連携による消費者の誘致・獲得を行います。</p>

※1 SOHO（ソーホー）

Small Office/Home Office（スモールオフィス・ホームオフィス）の略。パソコンなどの情報通信機器を利用して、小さなオフィスや自宅などでビジネスを行うスタイル。

1 保健・医療・福祉

2 教育・文化

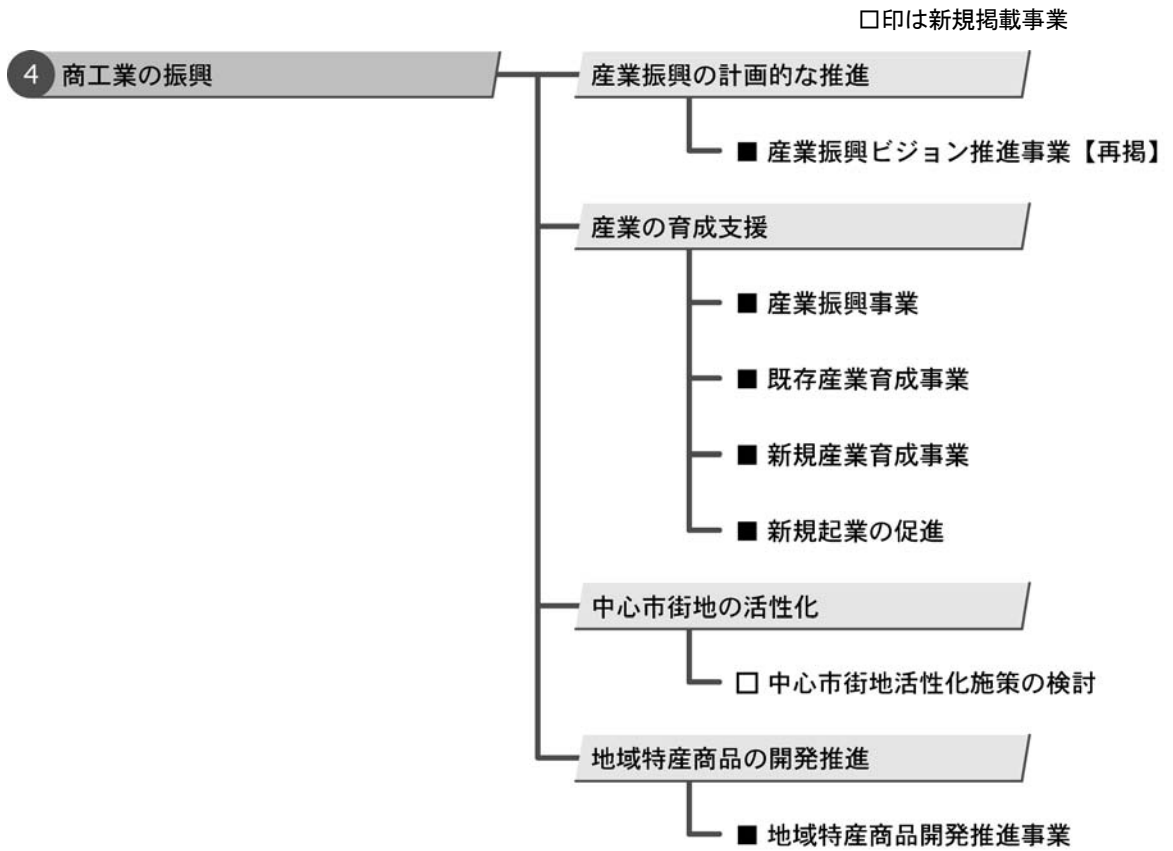
3 環境共生

4 都市基盤

5 産業振興

6 行財政改革・市民参画

施策の体系



■地域食材のブランド化研修

1 保健・医療・福祉

2 教育・文化

3 環境共生

4 都市基盤

5 産業振興

6 行財政改革・市民参画



■南魚沼市の豊富な特産品



■愛・天地人博プレイベント会場での特産品販売



■最先端技術を持つ工場 設計技術者による作業風景

5

雇用の促進

現状と課題

南魚沼市の人口の社会動態をみると、平成10年度以降、市外への転出者が転入者を上回り人口減少が進んでいます。この大きな要因のひとつとして、多様化する雇用環境への対応の遅れが考えられ、地域経済の活性化による雇用の確保と創出が求められています。また、雇用の確保と創出のためには住宅、教育、福祉等、多分野の政策や取り組みとの連携が不可欠です。

基本方針

市内への企業の立地や起業・創業を促進し、産業振興と雇用の増大を図るとともに、求人情報の把握と効果的な提供に取り組みます。

次代を担う若者をはじめとする就業希望者の雇用安定化を図り、生涯安心して働き続けられる地域づくりを目指します。

施策の概要

◆ 雇用の安定化

市内の空き工場や空き施設を企業に紹介・斡旋し、働く場の創出を目指します。また、若者をはじめ市内での就労希望者が地域で働き続けられるよう、公共職業安定所（ハローワーク）と連携して求人情報の提供や企業と希望者とのマッチングを推進し、雇用の安定化を図ります。

◆ 職業能力の向上

職業能力開発施設と連携して、労働者の技術・技能を高め、産業を支える人材育成の支援を推進します。

施策の達成目標・指標

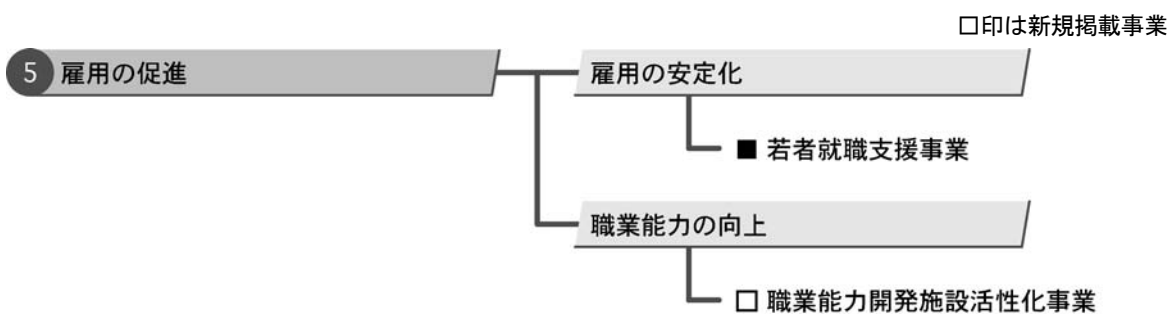
指標の名称	現在数値	目標数値	目標年度	数値の把握方法
企業立地奨励金の交付対象者件数の増加	6人/年	100人/5年間	H26	企業立地奨励金の交付申請件数にて把握
職業能力開発施設の在職者・求職者訓練受講者数の増加	過去5年間の 平均値 455人	今後5年間の 平均値 500人	H26	職業訓練法人南魚沼職業能力開発運営協会業務報告にて把握
「雇用対策が充実したまち」と思う市民の割合	10%	20%	H26	市民の声アンケート調査※

※「そう思う」「まあそう思う」の合算値（現在数値はH21年度市民アンケート調査より）

主要な事業

<p>■ 若者就職支援事業</p> <p>若者の市内での就職や職場への定着を促進するため、情報の提供や地元企業との出会いの場の設定などを、ハローワークと連携して推進します。</p>
<p>■ 職業能力開発施設活性化事業</p> <p>職業能力開発施設の現状事業を継続するとともに、産業構造や雇用環境の変化、働き方の多様化、少子高齢化などに対応した新たな職業能力開発事業を推進します。</p>

施策の体系



■【左】配管検定の様子
【右】アーク溶接実習の様子
（魚沼地域職業訓練センター）

